

かわぐち合唱団ニュース第23号 2017,3,8

代表 小川喜也



文化祭で演奏、届け！ハーモニー！！

3月5日の文化祭で一生懸命歌いました。OさんやTさんが応援に駆けつけて下さって、聞いていてくださいました。「ハーモニーがきれいにだったよ。選曲がよかったよ。虹と雪のバラードが特に良かった。」等々の感想を寄せてくださいました。10周年の励みになります！！



3月1日の練習から： 1時間でもたっぷり練習！

(待ちぼうけ)：

- ・歌詞を間違えないこと。(1番のみにラインを引くとか、各自工夫を)
- ・出だしはすごく良くなった。
- ・3回目は、ゆっくり始まるが、(うまい切り株一きのねっこ、うまい切り株一きのねっこ)のテンポは変わらず。遅くならない事。

(浜辺のうた)：

- ・指揮者をよく見て、乗り遅れない事。
- ・最後の(かいのいろもー)は楽譜通りしっかりのぼすが、長すぎない事。

(Tantum Ergo)・

- ・(Tan)の音と発音をはっきりと大事にし、前に進める感じで出すこと。
- ・Basの最初の出だしが大切。
- ・テノールは、p25の下の段の音程に注意。
- ・一番最後の(アーメン)は「n」を少しきかせてほしい。
- ・p28の(lau-da-ti-o)の「ti」は(ツイ)、(pro-ce-den-ti)の(ti)は(テイ)と発音。

(虹と雪のバラード)

- ・男性、1番の出だしが大切。自分でカウントし、フライングしないように。
- ・p17(そしてーうーたー)の後の八分休符はいかしてここで切ること。そして改めて(ぼくらはよぶ)とクレッシェンドをかけていく。
- ・伸びている音ほど音楽を進めること。間延びしない。
- ・p17(それともーこい)の「こーい」はもっと引き締めて。
- ・p18(あいだにー)のクレッシェンドがもっとほしい。
- ・p19(オリンピック)の「ク」の前の八分休符を生かし、自然に切ること。
- ・codaに気を付けること。
- ・最後の(オリンピックとー)は、3小節分のぼし、自主的に切ること。クレッシェンドからデクレッシェンドへ移行する。

連絡：①4月8日、神社演奏。(箱根八里、待ちぼうけ、浜辺のうた)。その後11時から13時まで総会。

(中央ふれあい館、講座室3にて)

②スポーツ安全保険加入手続きを行います。一人800円です。次週集めますのでご準備下さい。

③10周年コンサート、リアホールにて **2018年 3月11日** 開催決定！！

3月の別名：(弥生、夢見月ゆめみづき、桜月さくらづき

春惜月はるおしみづき)というそうです。

美しいですね。(A)

